東京聖書学院
The Children's Seminary
学院だより
2017年 秋号 (通巻第98号) 11月10日発行
発行所/〒189-8512 東京都東村山市諏訪町1-30-1
[東京聖書学院] 042-391-3076 fax.042-397-7558 郵便振替00190-0-78949
[聖書学院後援会] 042-394-8791 郵便振替00170-8-136685

「恵まれる」ということ

男子寮監 佐藤 義則

「神様がクリスマスのことを考えた。『恵まれの女王』おめでとう、お誕生おめでとう」。みなさま福音書第二章二八節。

私が聖書学院に入学した頃、「学生の安全第一」という言葉がよく聞こえてきました。「学生の安全」ということは、学生が事故に遭ったり病気になったりしないように、という意味合いでしょうか。確かに、学生が事故に遭ったり病気になったりすることは、誰にとっても悲しいことです。ですから、学生の安全を守ることは、大切なことです。

ただ、「学生の安全」ということを、もうすこし広い意味で考えてみたいと思います。同じ章の前半には、ヨアケフのマルタの溝で羊の群れを夜の番をしていた羊飼いたちが、天使から「恐れるな、わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日、ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ、主メシヤである。あなたがたへのしるしは、布にくるまって飼い葉おけに寝ている乳飲み子を見ることである」と言われました。すると、その天使に加わって、大ぜいの天の軍勢が現れ、神をほめたたえて言った。「いと高き所では、神に栄光があり、地の上では、御心にかなう人々に平和があるように」。羊飼いたちは、この天使の言葉を聞いて、ベツレヘムへ行くことを決めました。羊飼いたちは、ベツレヘムへ行くことを決めたことで、羊の群れを守ることができなくなってしまったのではないでしょうか。羊の群れを守ることを放棄することになってしまったのではないでしょうか。羊の群れを守ることを放棄することで、羊飼いたちは、救い主メシヤに会うことができたのです。

「恵まれた」という言葉を、「喜び」に置き換えてみたいと思います。羊飼いたちは、救い主メシヤに会うことができたことで、大ぜいの天の軍勢が現れ、神をほめたたえて言った。「いと高き所では、神に栄光があり、地の上では、御心にかなう人々に平和があるように」。羊飼いたちは、この天使の言葉を聞いて、喜びに満たされました。羊飼いたちは、救い主メシヤに会うことができたことで、羊の群れを守ることを放棄することになってしまったのではないでしょうか。羊の群れを守ることを放棄することで、羊飼いたちは、救い主メシヤに会うことができたのです。

「恵まれた」ということは